



固定通信分野における 事業者間連携による工事の削減に係る状況報告

令和3年6月9日
事務局

第4章 固定通信市場に係る課題

2. 事業者乗り換え時のスイッチングコストに関する事項

(1) 工事費

③ 対応の方向性

○ 事業者間連携による工事の削減

事業者間の連携による工事自体の削減については、NTT東日本・西日本、KDDI、NTTドコモ及びソフトバンクの5社において戸建の引込み線工事を不要とするための協議を実施している旨の説明があった。さらに、KDDIからはこの協議の結果、2021年度早々に導入したい旨の説明があったところであり、早期に実現されるよう協議の状況を注視していくことが必要である。また、協議を行っている5社においては、利用者のスイッチングコスト低減の観点から、他の光コラボ事業者や接続事業者等が希望する場合にはその事業者も含めて工事の削減に係る対応が可能となるよう取り組むことが適切である。

加えて、集合住宅における屋内配線の転用や設備の標準化については、事業者間での協議を検討したい旨の説明があったところであり、まずは事業者間での協議の状況を注視するとともに、これを踏まえて必要な対応を検討することが適切である。

総務省においては、これらの取組をフォローアップし、必要な場合には制度的な措置を含めて対応し、事業者間の連携による工事費の低廉化を推進していくことが必要である。

- FTTHアクセスサービスの新規契約時に必要になる**開通工事費**は、工事の形態によって異なるが、戸建向けに屋内配線を新設する場合には、**19,800円～44,000円**。
- 一部の事業者は、解約時に設備を撤去する場合があります、その**撤去工事費**は、**11,000円～31,680円**。

	第一種指定事業者	卸先事業者 (光コラボ事業者)			接続事業者		自己設置事業者	
	NTT東日本・西日本 (フレッツ光)	NTTドコモ (ドコモ光)	ソフトバンク (SoftBank光)	ビッグローブ (ビッグローブ光)	KDDI (auひかり)	ソニーネットワーク コミュニケーションズ (NURO光)	オプテージ (eo光)	中部テレコミュニケーション (コミュファ光)
開通工事費※ (戸建)	19,800円	19,800円	26,400円	19,800円	41,250円	44,000円	29,700円	0円
解約時の 撤去工事費	なし	なし	なし	なし	31,680円	11,000円 (撤去の場合)	11,000円 (撤去の場合)	13,200円

※ 開通工事費屋内配線を新設する場合の工事費(税込)。全ての新規契約者に適用される割引以外は割引を考慮していない額を記載。

- NTT東西のサービス卸は、コラボ事業者を変更する際に、卸元事業者はNTT東西で変わらないにも関わらず、電話番号を継続利用できない、光回線の廃止・新設の工事が必要となる等の問題があった。
- 平成30年8月に総務省において開催した「NTT東西の光サービスの卸売サービスの事業者変更の在り方についてのタスクフォース」によって利用者の利便性向上の観点から、電話番号及び光回線の継続した利用を可能とする「事業者変更」を早期に実現するよう提言が行われた。
- 提言を踏まえ、NTT東西、コラボ事業者等の関係者間において、システム改修や運用体制の整備等が行われ、令和元年7月1日より電話番号及び光回線の継続した利用を可能とする「事業者変更」が開始。
- 他方、総務省において令和2年3月に実施した利用者向けアンケート(n=4,000)では、「事業者変更」の認知度は約2割の状況であり、利用者の認知度は低い状況。

概要

